



## 第1回学校評価についてまとめました

1学期の終わりにご協力いただいた学校評価の結果及び改善策がまとめられましたので、お知らせします。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校評価一覧表から】は、数値目標が達成されていないもの

項目	具体的数値目標	調査結果	改善策 等
保護者との連携	①「生徒の様子や学校からの各種通信を通して学校の様子がわかる」と答える保護者が80%以上である。	保護者 92%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、各種通信、連絡メールなどで、学校・生徒の様子を発信し、家庭との連携を図ります。</li> <li>・生徒の活躍の様子の写真等を校舎内に掲示することを継続します。</li> <li>・日頃から生徒の僅かな変化も見逃さず、電話連絡や家庭訪問等により家庭との連携を図ります。</li> </ul>
	②「学校やPTAの諸活動に参加している」と答える保護者が80%以上である。	保護者 92%	
	③「学校に連絡や相談がしやすい」と答える保護者が80%以上である。	保護者 89%	
確かな学力	④「授業に満足感をもっている」と答える生徒が80%以上である。	生徒 90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜ」「どうして」を多用した授業づくりを充実させるとともに、タブレット端末を活用して、「もっとやってみたい」という気持ちになる授業を展開していきます。</li> <li>・今後も朝読書の時間確保、「図書だより・北中書店」の発行、生徒玄関前に設置した「今日の一冊」の紹介、生徒による読書案内等で本の魅力を伝えていきます。</li> </ul>
	⑤「授業がわかる」と答える生徒が80%以上である。	生徒 85%	
	⑥「家庭での学習で、生活記録やSSPカード、学習に手引き等を活用している」と答える生徒が90%以上である。	生徒 73%	
	⑦「1ヶ月に1冊以上本を読んでいる」と生徒の80%以上が答えている。	生徒 68%	
豊かな心	⑧「あいさつやTPOに応じた言葉遣いができている」と90%以上が答えている。	保護者 86% 生徒 92%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談や生活記録、日常の観察等で生徒の様子を把握し、素早く対応すると共に、毎月の生活アンケートでいじめの未然防止・早期発見に努めます。</li> <li>・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等へ相談できる環境作りをさらに進めていきます。</li> <li>・生徒と向き合う時間を確保し、「ほめる」「認める」「励ます」支援で子供のよさや意欲を引き出し、自己有用感や自己肯定感を育てます。また、学校行事の事前事後で生徒同士のよさを認める活動を行います。</li> </ul>
	⑨「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と90%以上が答えている。	保護者 90% 生徒 94%	
	⑩「自分にはよいところがある」と生徒の90%以上が答えている。	生徒 68%	
	⑪「学校の決まりや約束を守って生活している」と90%以上が答えている。	保護者 92% 生徒 94%	
健康・体力	⑫「生徒はほぼ毎日朝食をとっている」と90%以上が答えている。	保護者 92% 生徒 93%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や睡眠の大切さを保健だより等で啓発していきます。</li> <li>・生活記録を有効活用することで、時間を意識し、生活の見通しをもつ能力を身に付けていきます。</li> </ul>
	⑬「生徒は1日6時間以上の睡眠をとっている」と80%以上が答えている。	保護者 89% 生徒 84%	
	⑭「運動（部活も含む）や地域のスポーツ活動などに取り組んでいる」と80%以上が答えている。	保護者 83% 生徒 82%	
安全確保	⑮感染症対策を含め、「施設・設備の安全管理や不審者への対応をとっている」と90%以上の保護者が答えている。	保護者 94%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も感染症対策に保護者の方々の協力を得ながら、取り組んでいきます。</li> <li>・職員による校区内のパトロールや校門指導を行い、安全確保に努めます。</li> </ul>
	⑯「登下校時の街頭指導・パトロールに学校・家庭・地域が協力している」と80%以上の保護者が答えている。	保護者 92%	
路進	⑰「生徒は将来の夢や目標をもち、実	保護者 63%	・今後も、行事や生活記録を通して、目標を

	現に向けて努力している」と８０％以上が答えている。	生徒 <u>7.9%</u>	もつこと、自分の行動を振り返ることの大切さに気づかせるとともに、進路学習の充実を図り、「なりたい自分」を目指す心を育てていきます。
	⑱「親子で進路についての話し合いを行っている」と８０％以上が答えている。	保護者 81% 生徒 <u>6.8%</u>	
運営	⑲「部活動方針に則って運営されていると保護者の９０％以上が答えている。	保護者 92%	・部活動方針を遵守し、保護者との連絡を密にし、安全で計画的な運営をしていきます。

## 【保護者：自由記述欄から】

- ① 教師の言動について
- ② 学校とのメールでのやりとりについて
- ③ 男女混合の体育について
- ④ 部活動について
- ⑤ 先生方へのねぎらい

## 【学校から】

- ① 教師の言葉遣いについてのご指摘がありました。私たち教師は、教育公務員であるという自覚を持ち、より一層生徒の手本となるよう、指導に当たるよう改めて心がけてまいります。
- ② 「学校に連絡するときに、メールでやりとりできたら助かります。」という意見がありました。現在のところ、本校では、皆様への確実な情報伝達と、緊急時の迅速な対応を最優先するため、個人的な内容についてはお電話でのご連絡をお願いしております。電話であれば、その場で状況を確認し、必要な情報を正確にお伝えできるため、保護者の皆様との円滑な連携を図ることができると考えております。ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。今後、連絡方法の多様化についても検討してまいります。現時点では上記ご理解いただけますようお願いいたします。
- ③ 「男女混合でのバスケットは体格差や体力差等から危険があるのでは？」という意見がありました。ご指摘のように中学生では男女の体格差や体力差が大きく、混合で活動するには危険な場面もあります。しかし、県教育委員会が男女の共修を推奨しているように、体育には運動をする個人の性差や技能・特性の違いを理解しながら、体を動かすことを楽しむという価値もあります。運動の意味や価値を考慮しながら、その活動内容やレベルを確認し、安全に楽しく体育の授業を楽しめるよう気をつけてまいります。
- ④ 「朝練習がなくなり、子どもが1人でのいる時間が増えたのでは？」「土曜日の部活動を再開して欲しい」という意見がありました。部活動は現在転換期を迎えております。伊勢崎市からも、①生徒の心身の健康増進と学習時間の確保、②生徒の自主性、主体性の育成、③生徒の多様な経験の機会創出、④働き方改革等の意義から部活動の転換を進めております。そういった中で本校の部活動も変わりつつあります。ご不便をおかけすることもあるかも知れませんが、ご理解をいただきたいと思っております。また、「休日の部活動がお昼を過ぎてしまうことがある。」という意見がありました。相手校のある練習試合等もありしっかりと時間を区切れないこともあるかと思っておりますが、生徒の健康と安全を第一に、その意義を達成できるよう部活動を指導してまいります。
- ⑤ たくさんのねぎらいの言葉をいただきました。保護者の皆様の温かいご理解とご協力は、大変ありがたく感謝しております。これからも、子ども達の成長のために保護者の皆さまと共に歩んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。